

第 1 回 津山市教育振興基本計画検討委員会 会議録【概要】

日 時 平成 28 年 6 月 21 日（木）14：00～15：30

場 所 津山市役所東庁舎 E 302 会議室

出席者

・津山市教育振興基本計画検討委員 11 名

委員長 松岡信義（美作大学短期大学部教授）

副委員長 松本浩之（津山市 P T A 連合会会長）

委 員 市村京子（津山市中学校長会）、小坂田昌平（津山市体育協会会長）、
可児通宏（くらしき作陽大学非常勤講師及び津山市文化財保護委員）
甲田敦三（津山市小学校長会長）、菅原良二（一般公募）、杉山明
（津山工業高等専門学校教授）、塚本さつき（津山市立幼稚園長会長）
福田邦夫（津山朝日新聞社代表取締役社長）、八木芙佐子（津山市文
化連盟会長）

・事務局 教育長、教育委員会関係部課長、企画調整官、関係各課長等 17 名

1．開会

2．委嘱状交付

3．教育長あいさつ

4．自己紹介

5．委員長、副委員長選任

・委員長 松岡信義 美作大学短期大学部 教授

・副委員長 松本浩之 津山市 P T A 連合会 会長

6．議事

（1）計画の策定方針について

（事務局説明）

・計画を策定する趣旨は、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を策定し、本市が今後取り組むべき教育の振興に関する施策の基本的な方針を示すもの。

・津山市教育委員会では、国・県の計画を参考にしながら、平成 24 年 2 月に「津山市教育振興基本計画」を策定し、津山市が目指す教育の基本理念と目標を示し、合せて 5 年間に取り組むべき施策の方向性を示した。

・5年間の計画期間を設け、目標の達成に向けて今日まで取り組んできたが、平成28年度をもって現計画期間が満了することから、この度、平成29年度からの本市の教育振興に向けた「津山市教育振興基本計画（第2期）」の策定を行うもの。

・計画の策定主体は、津山市教育委員会。

・計画の策定期間は今年度中。

・計画の期間は、平成29年度から平成33年度までの5年間。

・津山市教育振興基本計画において設定した今後10年間を見通した、津山市の目指す教育の基本理念を踏まえて、今後5年間に取り組む本市の教育施策の方向性を示すもの。

・「津山市第5次総合計画」をはじめ、津山市あるいは津山市教育委員会が策定する、他の計画等と整合した、教育行政分野における総合的な計画と位置づける。

・計画における教育の範囲には、学校教育、家庭教育、社会教育に加えて、文化、スポーツすべてを含んだものとする。ただし、県立・私立の学校で行われる教育内容や学校経営等には、各校の独自性の観点から、本計画には含まない。

・乳幼児期、少年期、青年期、壮年期、高齢期などいずれの時期の教育も含まれるものとする。

・教育委員会だけでなく、市長部局が所管する分野・施策を含む。

・資料にある計画の構成比較として、現行計画の序章、第1章にあたる部分には、「第1章 計画の策定について」として、策定の趣旨や計画の位置付け等を記載するとともに、現行計画で取り組んできた、本市の教育の各分野における現状、成果と課題などについて取りまとめる予定。

・第2章では、「津山市が目指す教育」として現行計画同様、教育基本理念などを取りまとめる。

・第3章では、「基本的な施策」として、平成29年度から取り組んで行く施策を、掲載していく。

・第4章では、「計画の実現に向けて」について、現行計画と同様、取りまとめていく予定。あくまで、構想段階、今後の進捗状況により、変更する場合もあり。

（2）策定の進め方

（事務局説明）

・「計画案」について、教育委員会及び関係各課で素案を策定し、教育委員会関係部課長会議において検討しながら作成。

・今回、計画案策定の基礎資料として、市民アンケートを実施。

・「検討委員会」の所掌事務は、「津山市教育振興基本計画検討委員会規則」第2条に基づき、津山市教育委員会の求めに応じ、「津山市教育振興基本計画の策定に関すること」「その他津山市の教育の振興に関し、必要な事項の検討に関すること」について協議し、意見を述べること。

- ・今回は、11名の委員の皆さまに、幅広く意見を頂きたい。検討委員会は、本日を含め、5回から7回程度を予定。
- ・全体の流れは、月1回程度の開催を予定。検討委員会の場合は、11月までに計画の最終案を取りまとめればと考えている。教育委員会では、それを受けて予定では、7月、8月、10月に教育委員会会議にかけて、進捗を図っていく。12月には教育委員会で最終案を承認の後、パブリックコメントを行う予定。
- ・9月定例会市議会で、中間報告を行う予定。

(委員の意見)

- ・1期がどこまでできたかの検証が必要。
- ・「かなりできたもの」「不十分であるもの」「できていないもの」そういったチェックが必要である。
- ・今度の計画が、2次。1次の検証・評価をしないと、次の策定はできない。
- ・振興計画の継続性という観点から1次から2次へどういうふうに軌道修正していくか。
- ・津山市独自のものを策定しなければならないが、国・県の振興計画を背景として意識しながら進めていく。
- ・子どもたちを目の前にしてどうすればいいんだろうという観点でやらないといけない。
- ・テーマである津山の教育を繋ぐという意味をしっかりと考えていかないといけない。
- ・私たちは、自分が関わっている分野は分かるが、他の分野はわかりにくいと同時に、分かってもらえていないという両方がある。そういった意味でも互いに分からない部分を埋める作業が必要。
- ・現状を検討しながら、達成しているもの。継続していくもの。削除するもの。項目ごとに検討して、策定していく方向がいいのかなと思う。
- ・構成の順序は、検討してもらいたい。

(3) その他

- ・第2回検討会の開催について
平成28年7月19日(火)14時開会

7 その他
なし

8 閉会